

平成 28 年 9 月度定例自然観察会報告書

テーマ：「開園早々のあいな里山公園を歩く」

実施日：平成 28 年 9 月 11 日（日）曇り後晴れ 気温 27℃

担当班：3 班

- ① コース：神戸電鉄「藍那駅」～国営明石海峡公園神戸地区
「あいな里山公園」相談ヶ辻入口より入園～園内観察
～農村広場～野草園・盆処の丘



- ② 時間：

神鉄藍那駅東の集落広場集合（出発 9：50）→神戸層群説明（10：15）→相談ヶ辻入口到着（11：00）休憩・藍那古道と源平合戦の説明（11：10）→園内の観察→長屋門到着（12：10）昼食後出発（12：45）→野草園の観察と盆処の丘にて、明石大橋と雄岡山・雌岡山を眺めて、長屋門へ到着後解散（13：40）

- ③ 参加者：ビジター 45 名、会員 34 名、合計 79 名

（参考：9/4 自主研修は会員 39 名参加）

- ④ 配布資料：コースマップ（植生一覧表付）

- ⑤ 説明担当：ビジターを 4 班に分け、各班スタッフ 4 名（説明者・補佐・アシスト・誘導）
会員は 2 グループにて各説明者と誘導者にて対応した。

- ⑥ 概要と感想

今年 6 月に開園した、“あいな里山公園”へ神鉄藍那駅からゆっくりと自然観察をしながら途中では「神戸層群の解説」をして園内へ入った。受付でドクダミ茶を頂いた後に「相談ヶ辻」の謂れや藍那古道の歴史などを解説した。木見川上流から農村広場地区まで自然観察をして長屋門にて昼食。その後野草園を観察してから「盆処の丘」では明石大橋と雄岡山・雌岡山を眺めて、再度長屋門へ帰着後解散した。希望者は園主催の「里山体験会」でお茶づくりを楽しんだようです。



観察した植物では、珍しいものでは「ソクズ」「ヤブツルアズキ」「タヌキマメ」「タコノアシ」「マキエハギ」などが見られた。参加者には植物に詳しい方もおられ、説明担当に質問を投げかけたりして、今日初めて顔合わせをしたようには見えなかった。このような光景も当会の特徴と感じた。（これからも輪を広げていきたいと思う）



当日の天気は 2 日前では降水確率が 70%と危ぶまれたが、なんと見事に晴れて参加者は予想以上に多かった。

「神戸層群の解説」と「藍那古道と源平合戦史の解説」は担当者が何度も下見と練習をして見事に成し遂げた。4班編成で臨み、各班では「秋の七草を探してみよう」の投げかけで興味を引き寄せて出発した。参加者自ら積極的に「参加」「参画」したようで、対象の植物を見つけた時は歓声が聞こえ、和やかに観察をしていた。
(参加者の顔を拝見したら満足そうであった。



3班のチームワークの賜物と自賛する)



⑦ 観察・説明した植物 (取材した担当者の感想も含む)

・当日の3班の記録

(龍田さん記録)

観察会での説明内容 (印象深いものを抜粋)

この地域で秋の七草を見つける事ができるので観察してみようと声掛けして出発。

*集合場所～相談ヶ辻入口まで

まずワレモコウを発見。小さな花の集まりの渋い色合いが秋の風情が感じられると満足。バラの仲間と聞いてびっくりする。

次に崖から垂れ下がるツルグミは常緑。葉の裏が金色と観察。ナワシログミ、ハルグミ、ナツグミとあるようにグミは食べられる時期の名前がついている。

坂道でダイオウグミ (ビクリグミ) を見て、ナツグミを品種改良したもので落葉する。葉は羊皮紙の感触で葉裏は白いと観察する。

周囲の高木をドングリの木と説明。実の大きいものをクヌギやアベマキ、実の小さいものをカシの木とざっくり紹介。

クヌギの木に巻き付くテイカカズラの二股の莢状の実を注目。5月に白い花が咲き秋に実ができる。莢の中に綿毛を持つ種が入っていることはほとんどの方がご存じだった。

ツルアリドオシの赤い実を観察後、崖の礫岩などを見ながら神戸層群の説明を聞く。近くで採取したという植物化石も手に取り観察できた。3500万年前の植物化石か・・・。

坂道を上がったところでイタビカズラを見る。イチジクの仲間で実は食べられる。

モミの葉のつき方、葉先を観察。葉先が二つに割れている。

マルバアオダモの葉を見、形が丸くはないが葉の周囲に鋸歯がなくつるつとしていてことでの名前と説明あり、皆さん納得する。

ヤマコウバシの葉はソバのつなぎにする。冬になっても葉が落ちないので受験生のお守りとされる。また、借金返済時期の言い訳にした賢い子供に因み「親孝行の木」と言われる。参考に、うどんのつなぎにはドングリを使うとの説明あり。

相談ヶ辻入口近くの山道にマルハギがあり、葉が丸いのと花が茎にくっついて咲くのが特徴。

ツクシハギは花柄の先に花が咲くところが異なる。

ススキの穂（尾花）を見つける。

傍にクズの花が咲いていて手に取って観察してもらおう。春の七草は全て食べられるが、秋の七草で食べられるのはクズのみである。参考に「万葉集」の山上憶良の歌を披露する。

池に繁茂するヒシの花と実を観察し、ヒシの実を食す体験の参加者もあった。

ヤブムラサキの葉を触ってもらおう。ビロードのような毛深い感触に感嘆の声が上がっていた。この葉の感触と花が下向きに咲くことが特徴で、ムラサキシキブと区別できる。

*相談ヶ辻入口～あいな里山公園内を廻る

「相談ヶ辻」の地名の由来について聞き、歴史的な場所であることの認識を深める。

山肌に赤く色づくクマノミズキの花柄を見て赤いサンゴのようだと説明あり。

ケケンボナシの葉を触り毛があることを感じる。花後花柄が膨らんでくる所を食べる。二日酔いに効くとの話あり。

サンショウの葉をもんで良い香りを楽しんでもらう。ミカン科である。実もできていた。

木見川散策路に白く咲くヒヨドリバナはフジバカマの仲間と説明あり。

川辺にミゾソバとハッカの花が咲いている。ハッカの一茎を手折って皆で回し見て順番に身近で葉を触ってその清涼感ある香りをかいでもらう。観察会は五感を使って観察することと話あり。

藪の中にぶら下がるアケビの実を見つける。「美味しいよね」、「皮に詰め物をして食す」と話が盛り上がる。

野草園に向かう丘でネムノキの大木がたくさんの実をつけているのを見る。

タヌキマメの青い花と毛深い実を見る。参加された方で遠く姫路にまで見に行ったのにこのような近くで見ることができたと感動されていた方がいた。

野草園の中でマキエハギを見る。臥せて茂る珍しいハギであると説明があった。

展望台に上がり遠く明石海峡大橋を望む。仲良く並ぶ雄岡山、雌岡山もよく見える。良い天気にも恵まれた観察会であった。

里山公園提供の飲料「ハスの葉茶」や「ドクダミ茶」も美味しかった。

目標であった秋の七草探しは残念ながらカワラナデシコが咲き終わっていて見ることはできなかったが、土手に咲く青いキキョウの花の傍らに赤いヒガンバナが咲き始めていた。

季節を忘れない植物の律義さに感動して観察会を終了した。

・当日の1班と3班に同行した記録

(木村さん記録)

- ・1班（リーダー佐藤さん）について行く 9:40 スタート、
〈集落の坂道を上りながら〉

ツルグミ…いろんな種類が出てくるから見分けよう

クサニワトコ（ソクズ）…花の横にくぼみのある物体が蜜腺

ヌスビトハギ ダイオウグミ…グミは自家受粉しにくいのが特徴

アラカシ シラカシ アベマキ …材の色 樹皮 連理も観察

カエデドコロ フジ …つる性初めは小さな葉っぱで上へいくほど大きくなって最初とは違う葉に見える

サンキライ…利用や幹の登って行き方等 イチリョウ ?のキノコ

ウグイスカグラ…徒長枝を見ながら見分ける、また枯れたような枝の色目を観察

〈中山さんによる神戸層群の話〉

イタビカズラ…ちぎるとクワ科特有の乳液が出るのを見る

*暗い森を歩きながら、人が手入れして、森をつくる話をしたり、佐藤さんの森の見方が出ていました。

〈貸し農園が見えてきた〉

イタドリ …大きなサイズに驚いていました。モミ…葉をちぎり観察 テイカカズラ ガンピ
アズキナシ クズ ネジキ コウヤボウキ …1年目2年目の両方を見る マルバアオダモ
〈池で〉

アオサギ ゴイサギの幼鳥 ?カモのペア

10:50分相談ヶ辻入口へ到着

〈岩崎さんから公園の概要と周辺地域の歴史〉

・ここから2班(リーダー田中さん)について行く

〈側溝のせせらぎに沿う山肌〉

クマノミズキ キブシ ケケンポナシ サンショウ ハナイカダ ムラサキシキブ
ウド アズキ(畑栽培のもの) ヒヨドリバナ リョウブ カラスザンショウ セキショウ
ミゾソバ(ウシノヒタイ) カマツカ(ウシゴロシ) コバノガマズミ

ミヤコイバラ…ノイバラとの違いはたく葉の形の違い

アレチヌスビトハギ ツリガネニンジン ミツバアケビ…参加者が実をみつけた

ノブドウ ヤマウルシ…葉が太めで枝元にいくほど葉が小さくなるので一目瞭然

マルバアオダモ…鋸歯が丸いからついた名前イヌホウズキ・ミズタマソウ・ヤブツルアズキ

タコノアシ(野生のものっぽい)…「食べられますか」の声に「見た目だけや」の声

〈橋を右折〉

ノグルミ・ニガキ・ワレモコウ・カワラナデシコ(種の姿) アキノノゲシ・ヤマモモ・アキグ
ミ

田んぼを見ながら

タコノアシ ヘラオモダカ タカサブロウ

ヤマハギ…マルバハギとの違いで1目瞭然な特徴を教えてもらう

12:40 昼の部スタート 後方のあたりでフリーでついていく

〈野草園〉

ミヤコグサ ノグルミ マルバハギ ゲンノショウコ ネムノキ サワヒヨドリ ワレモコ
ウ

オトギリソウ 等 植えているものでしたが花のある場所では皆さん熱心で嬉しそうに観察
していました。

後方は会員グループだったので各々で楽しんでいる様子。私には価値がわからない‘マキエハ
ギ’も「こんだけあったら蒔絵ちゃうわ〜風情ないわ〜」「リュウノウの匂いってなんやねん」
と盛り上がっていました。

野草園の手入れを担当している方がいましたので話をしました。ここに植えているフジバカマ
はひとくから来たと言っていました。このエリアは種類にこだわりをもたずに植えていると
言っていました。ボランティアだということです。

ビジターの皆さんは気軽に参加できるこの会のスタンスが気に入っておられたようです。

常連さんによっては、どんどん質問していく方もいるのでリーダーの知識も常にストックが必
要だと感じました。スタッフが進行時間や、人数確認に気を配りながら会を進めていく様子
を見る事もできました。エリアパートの説明、受付や料金の支払い連絡、色々細かな役割分担が
あって実現するイベントでとても大変。今年は猛暑、そんな中を何度も下見を行っていただい
た方々も本当にお疲れ様でしたという思いです。

以上